

主催 古都物語実行委員会
共催 奈良県立図書情報館

平城京をめぐる宮都マングラ

吉野宮と

茅渟宮

離宮の成立と廃止

千田稔館長公開講座 図書館劇場Ⅳ 第二幕

講演① 「聖武天皇をめぐる藤原氏の人々」

千田 稔 (当館館長)

朗読 前 登志夫著『吉野紀行』より

都築 由美氏 (アナウンサー)

講演② 「古代の風景と吉野宮」

池田 淳氏

日時：平成21年7月25日(土)

13:00 ~ 16:00 (開場 12:00)

場所：2F エントランスホール (今回は会場が変更になっています)

図書情報館では、開館以来、「館長公開講座 図書館劇場」と銘打ち、平城京を巡る歴史から、また吉野から、現在では忘れられている奈良の先進性や原風景を明らかにしてきました。今年度は、平城遷都1300年を来年に控え、『平城京をめぐる宮都マングラ』をメインテーマに、奈良時代の都の変遷をたどり、遷都1300年の奈良の姿を浮き彫りにします。

第2幕は「吉野宮と茅渟宮ー離宮の成立と廃止」をテーマに開催します。

なお、本公開講座は毎回、奇数月の第4土曜日の13:00~16:00に開催します。

1958 年新潟県生まれ。1991 年より吉野町教育委員会事務局に勤務（文化財担当）。現在、吉野町教育委員会事務局社会教育課主幹兼吉野歴史資料館長。

論文：「吉野水分神社における御田の組織と演者」（『埼玉大学紀要』49-1）、「吉野猿楽の成立と変遷」（『増補吉野町史』）、「大和の群小猿楽座と奈良阪の翁舞」（『奈良豆比古神社の祭礼と芸能』奈良地域伝統文化保存協議会）、「民俗芸能の調査と歴史資料－吉野水分神社の御田を事例にして－」（『民俗文化財 保護行政の立場から』岩田書院）、「鼻と耳－前近代慣習法にみる身体器官の役割－」（『王権と武器と信仰』同成社）

参加申込み

定 員：３００名、先着順（定員になり次第締め切ります。）

参加料：1人 500円（資料代等、当日、受付にて徴収します。）

申込方法：往復はがき、FAX、メール、電話または来館による申込みもできます。

(2階カウンターにて受け付けます。)

なお、当館ホームページ「申込みフォーム」からもお申込みいただけます。

※ ① 郵便番号・住所 ② 氏名 ③ 連絡先電話番号（FAXでのお申込みの場合は、必ずFAX番号もお書きください。）を記入し、「図書館劇場Ⅳ第2幕申込み」と明記してください。また、往復はがきで申込みの場合は、返信にも送付先の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。

※1通に付き、2名様までのお申込みとします。

お問い合わせ・申し込み先

奈良県立図書情報館

申込み専用アドレス：

koen@library.pref.nara.jp

〒630-8135

奈良市大安寺西1丁目1000番地

TEL 0742-34-2111 FAX 0742-34-2777

URL : <http://www.library.pref.nara.jp>



【交通アクセス】

●近鉄奈良駅より
奈良交通バス停（8番のりば）から「県立図書館行き（22系統）」に
乗車し、終点。所要時間約20分。

●JR奈良駅より
奈良交通バス停（10番のりば）から「県立図書館行き（22系統）」に
乗車し、終点。所要時間約15分。

●近鉄新大宮駅より
駅南口バス停から「四條大路南町行き（8系統）」に乗車し、
県立図書館西口下車。徒歩5分。所要時間約15分。

●自家用車利用
国道24号線の柏木町交差点を東に折れ、1つ目の信号を左折。
約700メートル先の左手側。

駐車スペース:普通車311台。
1時間までは無料、それ以降は1時間毎に100円。

※第3幕以降のテーマ(予定)

9/26 第3幕 難波京と難波津一海のかなたへの憧れと不安

11/28 第4幕 恭仁京と紫香樂宮一大仏造立の序奏

1/23 第5幕 保良宮（ほらのみや）と由義宮（ゆぎのみや）—平城京衰退の予兆

3/27 第6幕 長岡京一なぜ平城京は廃都されたか